

PCR検査検体を採取していただく際のお願い（注意事項）

1 検体を採取していただく際のご留意事項

(1) 咽頭ぬぐい液

- ・採取した綿棒を、空の（培地の入っていない）滅菌スピッツまたはウイルス検査用（ウイルス培地入り）のスピッツ^{注1}に入れ、柄の部分折りスピッツの蓋をしっかりと閉めてください。
- ・乾燥しないように、スピッツの蓋の周囲をテープなどで巻いてください。

**注1）細菌検査用（細菌用培地入り）のスピッツには入れないでください。
スピッツは長さ13cm以内のものを使用してください。**

(2) 血液

- ・抗凝固剤（EDTA又はクエン酸）入りの採血管^{※注2注3}に全血採取してください。
 - ・**2mL以上**採取をお願いします。
- 注2）ヘパリン入り採血管は使用しないでください。
注3）血清分離剤入りの採血管は使用しないでください。

使用可◎ ：一般血液検査[赤血球数、白血球数、血小板数等]（EDTA入り）
凝固系検査（クエン酸ナトリウム入り）
使用不可×：生化学検査[タンパク、脂質、電解質]（プレーン管）
血清学的検査[血液型、梅毒反応、感染症血清反応等]（プレーン管）

※麻しん・風しんの検査診断にあたっては、血清学的診断も重要となります。

お手数ですが、貴院からIgM抗体検査を民間検査機関等に依頼いただき、結果が判明しましたら区福祉保健センターに情報提供をお願いいたします。

（横浜市衛生研究所では、PCR検査のみの実施となります）

(3) 尿

- ・貴院所有の尿専用スピッツ（長さ13cm以内）に、**10～20mL**程度採取してください。

2 検体の受領について

- ・回収に伺うまで、検体は**冷蔵（4℃）**で保存をお願いいたします。
- ・検体を採取したら、区福祉保健センターに御連絡をお願いいたします。

3 その他

- ・大変申し訳ありませんが、スピッツや綿棒などは御提供ください。